

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-204005

(P2001-204005A)

(43) 公開日 平成13年7月27日 (2001.7.27)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
H 0 4 N 7/173	6 4 0	H 0 4 N 7/173	6 4 0 Z
	6 2 0		6 2 0 A
G 0 6 F 13/00	5 4 7	G 0 6 F 13/00	5 4 7 T
17/30	1 7 0	17/30	1 7 0 Z
17/60	3 2 6	17/60	3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数26 O L (全 20 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-337796(P2000-337796)

(22) 出願日 平成12年11月6日(2000.11.6)

(31) 優先権主張番号 特願平11-316719

(32) 優先日 平成11年11月8日(1999.11.8)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 田中 勉

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

(72) 発明者 村上 弘規

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

(72) 発明者 古門 健

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

(74) 代理人 100098291

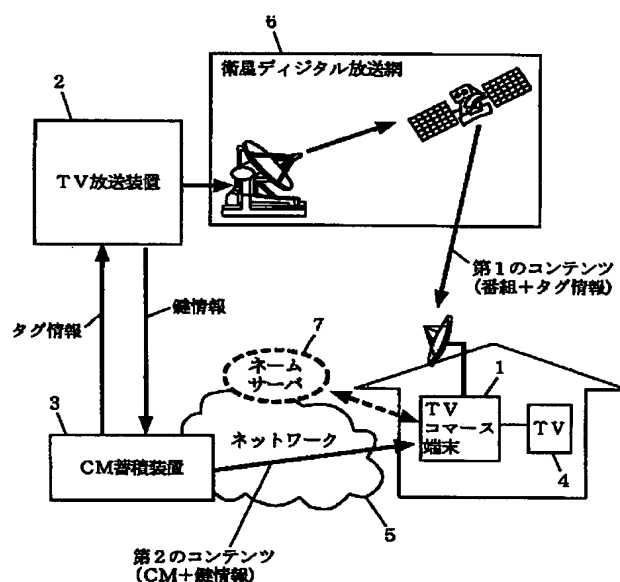
弁理士 小笠原 史朗

(54) 【発明の名称】 コンテンツ提供システムおよびそこで用いられる端末装置

(57) 【要約】

【課題】 放送される番組と、ネットワーク上に蓄積されているCMとを相互に関連付けて提供することができるようなシステムを実現する。

【解決手段】 ネットワーク5上のCM蓄積装置3に蓄積される各CM(第2コンテンツ)にURLがそれぞれ割り当てられ、TV放送装置2によって衛星デジタル放送網6を通じて放送される番組(第1コンテンツ)には、その番組と相互に関連付けて再生出力されるべきCMのURLを特定するためのタグ情報が埋め込まれている。TVコマース端末1は、受信した番組に埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定し、そのURLが割り当てられたCMを取得する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 放送される第1コンテンツを受信する一方、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツを取得し、受信した第1コンテンツおよび取得した第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力するための端末装置であって、

ネットワーク上には、複数の第2コンテンツが蓄積されており、

各前記第2コンテンツには、前記ネットワーク上のどこに当該第2コンテンツが蓄積されているかを示すURLがそれぞれ割り当てられており、

放送される第1コンテンツには、当該第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLを特定するためのタグ情報が埋め込まれており、放送される第1コンテンツを受信する受信手段、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツを取得する取得手段、および前記受信手段が受信した第1コンテンツおよび前記取得手段が取得した第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力する再生出力手段を備え、前記取得手段は、前記受信手段が受信した第1コンテンツに埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定して、当該URLが割り当てられた第2コンテンツを取得することを特徴とする、端末装置。

【請求項2】 前記第1コンテンツは、衛星放送網を通じて全国放送される番組であり、前記第2コンテンツは、地域用のCMであり、前記タグ情報には、広告主および／または商品の名称ないしは識別子が記述され、

当該端末装置がどの地域に所在するかを示すロケーション情報を記憶したロケーション記憶手段をさらに備え、前記取得手段は、前記ネットワーク上に蓄積されている各CMについて、そのCMに割り当てられたURLと、そのCMがどの広告主によるおよび／またはどの商品を対象とするどの地域用のものであるかとを記載したテーブルを参照して、前記受信手段が受信した番組に埋め込まれたタグ情報に記述されている広告主および／または商品の名称ないしは識別子と対応し、かつ当該端末装置の所在地域用であるCMのURLを特定することを特徴とする、請求項1に記載の端末装置。

【請求項3】 前記テーブルを記憶したテーブル記憶手段をさらに備え、前記取得手段は、前記テーブル記憶手段に記憶されているテーブルを参照して、前記URLの特定を自ら行うことを特徴とする、請求項2に記載の端末装置。

【請求項4】 前記取得手段は、前記テーブルを記憶したネームサーバに前記タグ情報および前記ロケーション情報を通知して前記URLの特定を行うように依頼することを特徴とする、請求項2に記載の端末装置。

【請求項5】 前記第1コンテンツは、スクランブルされており、

前記第2コンテンツには、前記第1コンテンツをデスクランブルするための鍵情報が埋め込まれており、前記再生出力手段は、

前記取得手段が取得した第2コンテンツから前記鍵情報を抽出し、

当該鍵情報で前記第1コンテンツをデスクランブルし、当該第1コンテンツおよび当該第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力することを特徴とする、請求項1に記載の端末装置。

【請求項6】 前記第2コンテンツは、MPEG2ビデオストリームの態様を有し、前記鍵情報は、前記MPEG2ビデオストリームの所定の層にあるユーザデータ領域に埋め込まれており、前記再生出力手段は、前記ユーザデータ領域から前記鍵情報を抽出することを特徴とする、請求項5に記載の端末装置。

【請求項7】 前記所定の層は、グループオブピクチャ層であることを特徴とする、請求項6に記載の端末装置。

【請求項8】 前記所定の層は、ピクチャ層であることを特徴とする、請求項6に記載の端末装置。

【請求項9】 前記所定の層は、シーケンス層であることを特徴とする、請求項6に記載の端末装置。

【請求項10】 前記第2コンテンツは、MPEG2ビデオストリームの態様を有し、前記鍵情報は、前記MPEG2ビデオストリームに電子透かしとして埋め込まれており、前記再生出力手段は、前記MPEG2ビデオストリームをデコードして前記鍵情報を抽出することを特徴とする、請求項5に記載の端末装置。

【請求項11】 前記第2コンテンツの出力タイミングが予め決められており、前記取得手段は、前記再生出力手段が当該第2コンテンツを当該タイミングで出力できるように、当該第2コンテンツを当該タイミングより前に取得することを特徴とする、請求項1に記載の端末装置。

【請求項12】 前記タグ情報には、放送される第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLが記述され、前記取得手段は、前記タグ情報に記述されているURLが割り当てられた第2コンテンツを取得することを特徴とする、請求項1に記載の端末装置。

【請求項13】 前記第1コンテンツは、商品CMであり、前記第2コンテンツは、商品注文用のWebサイトであり、前記Webサイトを通じて商品注文がなされるのを受け、配達される商品が保管される施錠された保管庫を解錠するための発注鍵を発行する鍵発行手段、および前記鍵発行手段が発行した発注鍵を、前記Webサイトを蓄

積している蓄積装置に前記ネットワークを通じて通知する通知手段をさらに備える、請求項12に記載の端末装置。

【請求項14】 放送される第1コンテンツと、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツとを相互に関連付けて提供するためのシステムであって、第1コンテンツを放送する放送装置、ネットワーク上に設けられ、複数の第2コンテンツを蓄積する蓄積装置、前記放送装置によって放送される第1コンテンツを受信する一方、前記蓄積装置から第2コンテンツを取得し、受信した第1コンテンツおよび取得した第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力する端末装置を備え、各前記第2コンテンツには、前記ネットワーク上のどこに当該第2コンテンツが蓄積されているかを示すURLがそれぞれ割り当てられており、前記放送装置は、前記第1コンテンツに、当該第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLを特定するためのタグ情報を埋め込んで放送し、前記端末装置は、受信した第1コンテンツに埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定して、当該URLが割り当てられた第2コンテンツを取得することを特徴とする、コンテンツ提供システム。

【請求項15】 前記第1コンテンツは、衛星放送網を通じて全国放送される番組であり、前記第2コンテンツは、地域用のCMであり、前記タグ情報には、広告主および／または広告対象商品の名称ないしは識別子が記述され、前記端末装置は、当該端末装置がどの地域に所在するかを記憶しており、前記蓄積装置に蓄積されている各CMについて、そのCMに割り当てられたURLと、そのCMがどの広告主によるおよび／またはどの商品を対象とするどの地域用のものであるかとを記載したテーブルを参照して、受信した番組に埋め込まれたタグ情報に記述されている広告主および／または商品の名称ないしは識別子と対応し、かつ当該端末装置の所在地域用であるCMのURLを特定することを特徴とする、請求項14に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項16】 前記端末装置は、前記テーブルをさらに記憶しており、前記URLの特定を自ら行うこと特徴とする、請求項15に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項17】 前記テーブルを記憶したネームサーバをさらに備え、前記端末装置は、前記ネームサーバに前記タグ情報および前記ロケーション情報を通知して前記URLの特定を行うように依頼し、前記ネームサーバは、前記URLの特定を行い、当該U

RLを前記端末装置に応答通知することを特徴とする、請求項15に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項18】 前記放送装置は、前記テーブルをさらに放送し、前記端末装置は、前記放送装置によって放送されたテーブルを受信して記憶することを特徴とする、請求項16に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項19】 前記放送装置は、前記テーブルをさらに放送し、前記端末装置は、前記放送装置によって放送されたテーブルを受信し、記憶しているロケーション情報に基づいて、受信したテーブルから、当該端末装置の所在地域用のCMに関わる情報だけを選出し、選出した情報だけが記載された新たなテーブルを記憶することを特徴とする、請求項16に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項20】 前記第2コンテンツの出力タイミングが予め決められており、前記放送装置は、前記第1コンテンツにタグ情報を埋め込む際、当該第1コンテンツ内の、前記端末装置が当該第2コンテンツを当該タイミングより前に取得できるような時間位置に、当該タグ情報を埋め込むことを特徴とする、請求項14に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項21】 前記第1コンテンツは、スクランブルされており、前記放送装置は、前記第1コンテンツを放送する前に、当該第1コンテンツをデスクランブルするための鍵情報を前記蓄積装置へと通知し、前記蓄積装置は、通知された鍵情報を、蓄積している各第2コンテンツに埋め込み、前記端末装置は、前記蓄積装置から取得した第2コンテンツから前記鍵情報を抽出し、当該鍵情報で前記第1コンテンツをデスクランブルし、当該第1コンテンツおよび当該第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力することを特徴とする、請求項14に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項22】 前記タグ情報には、前記放送装置によって放送される第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLが記述され、前記端末装置は、前記蓄積装置から前記URLと対応する第2コンテンツを取得することを特徴とする、請求項14に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項23】 前記第1コンテンツは、商品CMであり、前記第2コンテンツは、商品注文用のWebサイトであり、配達される商品が保管される施錠された保管庫をさらに備え、

前記端末装置は、
前記Webサイトを通じて商品注文がなされるのを受けて、前記施錠された保管庫を解錠するための発注鍵を発行し、
発行した発注鍵を前記蓄積装置に前記ネットワークを通じて通知し、
前記施錠された保管庫は、
前記端末装置が発行した発注鍵を記憶し、
記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて解錠することを特徴とする、請求項22に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項24】 前記施錠された保管庫は、記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて一度解錠すると、当該発注鍵を破棄することを特徴とする、請求項23に記載のコンテンツ提供システム。

【請求項25】 ネットワークを通じて商品を販売するための商品販売システムであって、
ネットワーク上に設けられ、商品注文用のWebサイトを蓄積する蓄積装置、
前記蓄積装置から前記Webサイトを取得して商品注文を行うための端末装置、および配達される商品が保管される施錠された保管庫を備え、
前記端末装置は、
前記Webサイトを通じて商品注文がなされるのを受けて、前記施錠された保管庫を解錠するための発注鍵を発行し、
発行した発注鍵を、前記ネットワークを通じて前記蓄積装置に通知し、
施錠された前記保管庫は、
前記端末装置が発行した発注鍵を記憶し、
記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて解錠することを特徴とする、商品販売システム。

【請求項26】 前記施錠された保管庫は、記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて一度解錠すると、当該発注鍵を破棄することを特徴とする、請求項25に記載の商品販売システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンテンツを提供するためのシステムおよびそこで用いられる端末装置に関し、より特定的には、放送される第1コンテンツと、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツとを相互に関連付けて提供するためのシステムおよびそこで用いられる端末装置に関する。

【0002】

【従来の技術】（第1の従来技術）地上波による全国向けTV放送では、キー局が番組を各地方局へと配給し、各地方局は、配給された番組を各地域に向けて放送する。民放の場合、上記のようにして放送される番組にCMが挿入される。従来、全国向けCMは、キー局において

番組に挿入され、各地方局を通じて放送されていた。一方、地方向けCMは、各地方局において番組に挿入され、放送されていた。

【0003】（第2の従来技術）最近、インターネット網や光ファイバ網などのネットワークの整備が進められており、ネットワークを利用した電子商取引が盛んに行われるようになった。ネットワーク上には、様々な商品を宣伝したり受注するための多くのWebサイトが蓄積されており、ユーザは、自宅にしながら、Webサイトを通じて欲しい商品を選び、注文することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】（第1の課題）2000年12月から放送開始が予定されているBSデジタル放送では、番組は、キー局から直接、衛星デジタル放送網を通じて全国放送される。そのため、民放の場合、番組に全国向けCMを挿入することはできるが、地方向けCMを挿入することができない。

【0005】一方、ネットワーク上に蓄積されているWebサイトの中には、地方向けのものが少なからずある。また、地方向けCMを蓄積する蓄積装置をネットワーク上に新たに設けることもできる。そこで、衛星デジタル放送網を通じて放送される番組に、ネットワーク上に蓄積されている各地域用のWebサイトやCMを挿入することが考えられる。

【0006】それゆえに、本発明の第1の目的は、衛星デジタル放送網を通じて放送される番組と、ネットワーク上に蓄積されている各地域用のCMとを相互に関連付けて提供することができるようなシステムを実現することである。

【0007】（第2の課題）Webサイトを通じて注文した商品は、通常、郵便局や宅配業者を通じ、ユーザ宅まで配達される。配達時、もしユーザが不在であれば、その商品は、郵便局等にいったん持ち帰られ、後日配達される。それによって、ユーザは、注文した商品を安全に受け取ることができるものの、受け取りに時間がかかる場合があった。

【0008】なお、上記のような不在時の商品受け取りの問題を解決するために、例えば、鍵付き保管庫を用いることが考えられる。不在時の商品受け取り用の保管庫は、予め施錠され、配達員が商品を配達する際に解錠されて、商品が収納されると再び施錠され、それ以降ユーザ以外の者によって解錠されないような機能を持つことが望ましい。しかし、従来、そのような保管庫はなかった。

【0009】それゆえに、本発明の第2の目的は、ネットワーク上のWebサイトを通じて商品を販売するシステムであって、注文した商品をユーザが安全に、かつ短時間で受け取ることができるような商品販売システムを提供することである。

【0010】

【課題を解決するための手段および発明の効果】第1の発明は、放送される第1コンテンツを受信する一方、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツを取得し、受信した第1コンテンツおよび取得した第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力するための端末装置であって、ネットワーク上には、複数の第2コンテンツが蓄積されており、各第2コンテンツには、ネットワーク上のどこに当該第2コンテンツが蓄積されているかを示すURLがそれぞれ割り当てられており、放送される第1コンテンツには、当該第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLを特定するためのタグ情報が埋め込まれており、放送される第1コンテンツを受信する受信手段、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツを取得する取得手段、および受信手段が受信した第1コンテンツおよび取得手段が取得した第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力する再生出力手段を備え、取得手段は、受信手段が受信した第1コンテンツに埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定して、当該URLが割り当てられた第2コンテンツを取得することを特徴としている。

【0011】上記第1の発明（または下記第14の発明）では、各第2コンテンツに、ネットワーク上のどこにその第2コンテンツが蓄積されているかを示すURLがそれぞれ割り当てられ、放送される第1コンテンツには、その第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLを特定するためのタグ情報が埋め込まれている。端末装置は、受信した第1コンテンツに埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定して、そのURLが割り当てられた第2コンテンツを取得するので、受信した第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツを取得することができる。これにより、提供者は、放送される第1コンテンツと、ネットワーク上に蓄積されている所望の第2コンテンツとを相互に関連付けてユーザに提供することができるようになる。

【0012】第2の発明は、第1の発明において、第1コンテンツは、衛星放送網を通じて全国放送される番組であり、第2コンテンツは、地域用のCMであり、タグ情報には、広告主および／または商品の名称ないしは識別子が記述され、当該端末装置がどの地域に所在するかを示すロケーション情報を記憶したロケーション記憶手段をさらに備え、取得手段は、ネットワーク上に蓄積されている各CMについて、そのCMに割り当てられたURLと、そのCMがどの広告主によるおよび／またはどの商品を対象とするどの地域用のものであるかとを記載したテーブルを参照して、受信手段が受信した番組に埋め込まれたタグ情報に記述されている広告主および／または商品の名称ないしは識別子と対応し、かつ当該端末装置の所在地域用であるCMのURLを特定することを特徴としている。

【0013】上記第2の発明（または下記第15の発明）では、タグ情報に広告主および／または商品の名称ないしは識別子が記述され、端末装置は、その端末装置がどの地域に所在するかを示すロケーション情報を記憶する。端末装置は、番組を受信すると、テーブル—このテーブルには、各CMについて、そのCMに割り当てられたURLと、そのCMがどの広告主によるおよび／またはどの商品を対象とするどの地域用のものであるかとが記載されている—を参照して、その番組に埋め込まれたタグ情報に記述されている広告主および／または商品の名称ないしは識別子と対応し、かつその端末装置の所在地域用であるCMのURLを特定する。これにより、提供者は、衛星放送網を通じて全国放送される番組と、所望の広告主および／または商品に関する、その端末装置が所在する（すなわちその端末装置のユーザが居住する）地域用のCMとを相互に関連付けて、全国各地域に居住している各ユーザに提供することができるようになる。

【0014】第3の発明は、第2の発明において、テーブルを記憶したテーブル記憶手段をさらに備え、取得手段は、テーブル記憶手段に記憶されているテーブルを参照して、URLの特定を自ら行うことを特徴としている。

【0015】上記第3の発明（または下記第16の発明）では、端末装置自身がテーブルを記憶しており、そのテーブルを参照してURLの特定を行う。

【0016】第4の発明は、第2の発明において、取得手段は、テーブルを記憶したネームサーバにタグ情報およびロケーション情報を通知してURLの特定を行うように依頼することを特徴としている。

【0017】上記第4の発明（または下記第17の発明）では、端末装置は、テーブルを記憶したネームサーバにタグ情報およびロケーション情報を通知してURLの特定を行うように依頼する。

【0018】第5の発明は、第1の発明において、第1コンテンツは、スクランブルされており、第2コンテンツには、第1コンテンツをデスクランブルするための鍵情報が埋め込まれており、再生出力手段は、取得手段が取得した第2コンテンツから鍵情報を抽出し、当該鍵情報で第1コンテンツをデスクランブルし、当該第1コンテンツおよび当該第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力することを特徴としている。

【0019】上記第5の発明（または下記第21の発明）では、第1コンテンツがスクランブルされており、この第1コンテンツをデスクランブルするための鍵情報を第2コンテンツに埋め込んでおく。端末装置は、取得した第2コンテンツから鍵情報を抽出して、その鍵情報で、受信した第1コンテンツをデスクランブルする。これにより、端末装置は、第2コンテンツを取得しなければ、受信した第1コンテンツを再生出力できないように

なる。その結果、提供者は、第1コンテンツ（典型的には番組）を提供する際、第2コンテンツ（典型的にはCM）をユーザに視聴させることができる。

【0020】第6の発明は、第5の発明において、第2コンテンツは、MPEG2ビデオストリームの態様を有し、鍵情報は、MPEG2ビデオストリームの所定の層にあるユーザデータ領域に埋め込まれており、再生出力手段は、ユーザデータ領域から鍵情報を抽出することを特徴としている。

【0021】上記第6の発明では、第2コンテンツがMPEG2ビデオストリームの態様を有し、鍵情報は、MPEG2ビデオストリームの所定の層（例えばグループオブピクチャ層、ピクチャ層またはシーケンス層）にあるユーザデータ領域に埋め込まれる。

【0022】第7の発明は、第6の発明において、所定の層は、グループオブピクチャ層であることを特徴としている。

【0023】第8の発明は、第6の発明において、所定の層は、ピクチャ層であることを特徴としている。

【0024】第9の発明は、第6の発明において、所定の層は、シーケンス層であることを特徴としている。

【0025】第10の発明は、第5の発明において、第2コンテンツは、MPEG2ビデオストリームの態様を有し、鍵情報は、MPEG2ビデオストリームに電子透かしとして埋め込まれており、再生出力手段は、MPEG2ビデオストリームをデコードして鍵情報を抽出することを特徴としている。

【0026】上記第10の発明では、第2コンテンツがMPEG2ビデオストリームの態様を有し、鍵情報は、MPEG2ビデオストリームに電子透かしとして埋め込まれる。この場合、MPEG2ビデオストリームをデコードしなければ鍵情報を抽出できないので、第2コンテンツを確実に視聴させることができるようになる。

【0027】第11の発明は、第1の発明において、第2コンテンツの出力タイミングが予め決められており、取得手段は、再生出力手段が当該第2コンテンツを当該タイミングで出力できるように、当該第2コンテンツを当該タイミングより前に取得することを特徴としている。

【0028】上記第11の発明では、第2コンテンツの出力タイミングに間に合うように、その第2コンテンツをそのタイミングより前に取得（プリフェッチ）する。

【0029】第12の発明は、第1の発明において、タグ情報には、放送される第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLが記述され、取得手段は、タグ情報に記述されているURLが割り当てられた第2コンテンツを取得することを特徴としている。

【0030】上記第12の発明（または下記第22の発明）では、受信した第1コンテンツ（典型的には商品C

M）に埋め込まれたタグ情報にURLが記述されており、端末装置は、そのURLが割り当てられた第2コンテンツ（典型的には送品注文用のWebサイト）を取得する。

【0031】第13の発明は、第12の発明において、第1コンテンツは、商品CMであり、第2コンテンツは、商品注文用のWebサイトであり、Webサイトを通じて商品注文がなされるのを受け、配達される商品が保管される施錠された保管庫を解錠するための発注鍵を発行する鍵発行手段、および鍵発行手段が発行した発注鍵を、Webサイトを蓄積している蓄積装置にネットワークを通じて通知する通知手段をさらに備えている。

【0032】上記第13の発明（または下記第23、第25の発明）では、端末装置は、取得したWebサイトを通じてユーザにより商品注文がなされるのを受け、

（配達員により）配達される商品が保管される施錠された保管庫を（商品配達時に配達員が）解錠するための発注鍵（例えば暗証番号やパスワード）を発行する。そして、その発注鍵を、そのWebサイトを蓄積している蓄積装置にネットワークを通じて通知する。

【0033】なお、好ましい実施例では、蓄積装置へと通知された発注鍵が、例えば文字やバーコードの態様で伝票上に印字されて、注文された商品に添付される。商品は、配達員によってユーザ宅へと配達され、施錠された保管庫内に収納される。施錠された保管庫は、端末装置が発行した発注鍵を記憶しており、その発注鍵と同じ鍵が入力されると解錠する。商品配達時、配達員は、商品に添付された伝票上の発注鍵を（保管庫に設けられたキーボードやバーコード読取器を通じて）入力して保管庫を解錠し、庫内に商品を収納する。

【0034】より好ましくは、下記第24、第26の発明のように、施錠された保管庫は、発注鍵が入力されて一度解錠すると、記憶している発注鍵を破棄する（つまり、発注鍵は使い捨てであり、同じ発注鍵で再度保管庫を解錠することはできない）。この場合、ユーザは、ユーザ鍵（発注鍵とは異なるマスタキー）を保有しており、施錠された保管庫を好きなときに解錠して、商品を取り出すことができる。これにより、ユーザは、Webサイトを通じて注文した商品を安全に、かつ短時間で受け取ることができるようになる。

【0035】第14の発明は、放送される第1コンテンツと、ネットワーク上に蓄積されている第2コンテンツとを相互に関連付けて提供するためのシステムであって、第1コンテンツを放送する放送装置、ネットワーク上に設けられ、複数の第2コンテンツを蓄積する蓄積装置、放送装置によって放送される第1コンテンツを受信する一方、蓄積装置から第2コンテンツを取得し、受信した第1コンテンツおよび取得した第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力する端末装置を備え、各第2コンテンツには、ネットワーク上のどこに当該第2コンテ

ンツが蓄積されているかを示すURLがそれぞれ割り当てられており、放送装置は、第1コンテンツに、当該第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLを特定するためのタグ情報を埋め込んで放送し、端末装置は、受信した第1コンテンツに埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定して、当該URLが割り当てられた第2コンテンツを取得することを特徴としている。

【0036】第15の発明は、第14の発明において、第1コンテンツは、衛星放送網を通じて全国放送される番組であり、第2コンテンツは、地域用のCMであり、タグ情報には、広告主および／または広告対象商品の名称ないしは識別子が記述され、端末装置は、当該端末装置がどの地域に所在するかを記憶しており、蓄積装置に蓄積されている各CMについて、そのCMに割り当てられたURLと、そのCMがどの広告主によるおよび／またはどの商品を対象とするどの地域用のものであるかとを記載したテーブルを参照して、受信した番組に埋め込まれたタグ情報に記述されている広告主および／または商品の名称ないしは識別子と対応し、かつ当該端末装置の所在地域用であるCMのURLを特定することを特徴としている。

【0037】第16の発明は、第15の発明において、端末装置は、テーブルをさらに記憶しており、URLの特定を自ら行うこと特徴としている。

【0038】第17の発明は、第15の発明において、テーブルを記憶したネームサーバをさらに備え、端末装置は、ネームサーバにタグ情報およびロケーション情報を通知してURLの特定を行うように依頼し、ネームサーバは、URLの特定を行い、当該URLを端末装置に応答通知することを特徴としている。

【0039】第18の発明は、第16の発明において、放送装置は、テーブルをさらに放送し、端末装置は、放送装置によって放送されたテーブルを受信して記憶することを特徴としている。

【0040】上記第18の発明では、番組に加えてテーブルが放送される。端末装置は、放送されるテーブルを受信して記憶する。

【0041】第19の発明は、第16の発明において、放送装置は、テーブルをさらに放送し、端末装置は、放送装置によって放送されたテーブルを受信し、記憶しているロケーション情報に基づいて、受信したテーブルから、当該端末装置の所在地域用のCMに関わる情報だけを選出し、選出した情報だけが記載された新たなテーブルを記憶することを特徴としている。

【0042】上記第19の発明では、番組に加えてテーブルが放送される。端末装置は、放送されるテーブルを受信して、そのテーブルから、その端末装置の所在地域用のCMに関わる情報だけを選出し、選出した情報だけが記載された新たなテーブルを記憶する。これにより、

端末装置に記憶される情報量が削減される。

【0043】第20の発明は、第14の発明において、第2コンテンツの出力タイミングが予め決められており、放送装置は、第1コンテンツにタグ情報を埋め込む際、当該第1コンテンツ内の、端末装置が当該第2コンテンツを当該タイミングより前に取得できるような時間位置に、当該タグ情報を埋め込むことを特徴としている。

【0044】上記第20の発明では、第2コンテンツの出力タイミングが予め決められており、放送装置は、タグ情報を埋め込む際、第1コンテンツ内の、端末装置が第2コンテンツをそのタイミングより前に取得できるような時間位置に埋め込むので、端末装置は、その第2コンテンツをそのタイミングで出力できるようになる。

【0045】第21の発明は、第14の発明において、第1コンテンツは、スクランブルされており、放送装置は、第1コンテンツを放送する前に、当該第1コンテンツをデスクランブルするための鍵情報を蓄積装置へと通知し、蓄積装置は、通知された鍵情報を、蓄積している各第2コンテンツに埋め込み、端末装置は、蓄積装置から取得した第2コンテンツから鍵情報を抽出し、当該鍵情報で第1コンテンツをデスクランブルし、当該第1コンテンツおよび当該第2コンテンツを相互に関連付けて再生出力することを特徴としている。

【0046】第22の発明は、第14の発明において、タグ情報には、放送装置によって放送される第1コンテンツと相互に関連付けて再生出力されるべき第2コンテンツのURLが記述され、端末装置は、蓄積装置からURLと対応する第2コンテンツを取得することを特徴としている。

【0047】第23の発明は、第22の発明において、第1コンテンツは、商品CMであり、第2コンテンツは、商品注文用のWebサイトであり、配達される商品が保管される施錠された保管庫をさらに備え、端末装置は、Webサイトを通じて商品注文がなされるのを受けて、施錠された保管庫を解錠するための発注鍵を発行し、発行した発注鍵を蓄積装置にネットワークを通じて通知し、施錠された保管庫は、端末装置が発行した発注鍵を記憶し、記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて解錠することを特徴としている。

【0048】第24の発明は、第23の発明において、施錠された保管庫は、記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて一度解錠すると、当該発注鍵を破棄することを特徴としている。

【0049】第25の発明は、ネットワークを通じて商品を販売するための商品販売システムであって、ネットワーク上に設けられ、商品注文用のWebサイトを蓄積する蓄積装置、蓄積装置からWebサイトを取得して商品注文を行うための端末装置、および配達される商品が保管される施錠された保管庫を備え、端末装置は、We

bサイトを通じて商品注文がなされるのを受けて、施錠された保管庫を解錠するための発注鍵を発行し、発行した発注鍵を、ネットワークを通じて蓄積装置に通知し、施錠された保管庫は、端末装置が発行した発注鍵を記憶し、記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて解錠することを特徴としている。

【0050】第26の発明は、第25の発明において、施錠された保管庫は、記憶している発注鍵と同一の鍵が入力されるのを受けて一度解錠すると、当該発注鍵を破棄することを特徴としている。

【0051】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。

（第1の実施形態）図1は、本発明の第1の実施形態に係るTVコマースシステムの構成を示すブロック図である。図1において、TVコマースシステムは、TVコマース端末1と、TV放送装置2と、CM蓄積装置3とで構成される。

【0052】TVコマース端末1は、デジタルTV番組を視聴するユーザ宅に設けられ、TV4と接続される。CM蓄積装置3は、各地のCM製作会社等に設けられ、インターネット網や光ファイバ網等のネットワーク5を介して、ユーザ宅のTVコマース端末1と接続される。TV放送装置2は、番組制作・放送を行う放送局に設けられ、放送／通信衛星を用いた衛星デジタル放送網6を通じて、全国のユーザ宅へ向けてデジタルTV番組を放送する。また、TV放送装置2は、ネットワーク5または専用回線を介して、各地のCM製作会社等に設けられたCM蓄積装置3と接続される。

【0053】図2は、図1のTV放送装置2によって放送される第1のコンテンツ（番組）の構成を示すビットマップである。図2において、第1のコンテンツには、番組の映像／音声信号と、タグ情報とが含まれている。映像／音声信号は、スクランブルされており、それをデスクランブルするための鍵がなければ、番組を見ることができない。ここでは、複数本のCMが、番組の途中に予め決められたタイミングで挿入されるとする。例えば、1時間番組に12本のCMを挿入する場合、まず番組開始時に4本、開始から20分後に4本、40分後に4本、などのように挿入される。

【0054】タグ情報は、第1のコンテンツと、第2のコンテンツ（CM）とを互に関連付けるための情報である。このような情報は、典型的には、番組に挿入されるべきCMの在処を示すURLであるが、本実施形態では、各地方局において、番組に各地域用のCMを挿入するために、次の（1）、（2）のような情報とする。

（1）特定の広告主を示すコード（以下、〔広告主〕コード）

（2）特定の商品を示すコード（以下、〔商品〕コード）

【0055】また、タグ情報は、TVコマース端末1がその情報をもとにCM蓄積装置3からCMを取得するのに要する時間を考慮して、第1のコンテンツ内の、各CMの再生タイミングに間に合うような位置に埋め込まれる。具体的には、図2の上段に示されるように、第1のコンテンツの先頭位置付近に全てのタグ情報が埋め込まれてもよく、または、下段に示されるように、各CMの出力タイミングに間に合うような位置に分散して、各タグ情報が埋め込まれてもよい。

【0056】図1のシステムでは、図2のように構成された第1コンテンツ（映像／音声信号およびタグ情報）が、TV放送装置2から衛星デジタル放送網6を経てTVコマース端末1へ、MPEG-TS（トランスポート・ストリーム）の態様で伝送される。

【0057】図3は、図1のCM蓄積装置3に蓄積されている第2のコンテンツ（CM）の構成を示すビットマップである。図3において、第2コンテンツには、CMの映像／音声信号と、鍵情報とが含まれている。鍵情報は、第1コンテンツに含まれる番組の映像／音声信号をデスクランブルするための情報であり、好ましくは、CMが再生完了されなければ番組が再生開始されないように、第2コンテンツの末尾位置に置かれる。

【0058】図4は、図1のシステム全体の動作の概要を示すフローチャートである。以下、図1のシステムの動作の概要について、図4を用いて説明する。図4において、最初、TV放送局に設置されたTV放送装置2には、第1のコンテンツとして、デジタルTV番組が蓄積される（ステップS1）。

【0059】一方、各地のCM製作会社等に設置されたCM蓄積装置3には、第2のコンテンツとして、複数の広告主による商品CMが蓄積される（ステップS2）。一例を挙げれば、大阪に設置されたCM蓄積装置3には、広告主“A”社による大阪地域用のCMとして、“Aa”商品、“Ab”商品、“Ac”商品、…の各CMが蓄積される。そして、蓄積された各CMには、そのCMの在処を示すURLアドレスが割り当てられる。例えば、“Aa”商品の大阪地域用CMには、“ftp://oosaka.A.co.jp/a”のようなURLが割り当てられる。

【0060】また、TVコマース端末1には、その端末1の所在地を示すロケーション情報と、第2のコンテンツの取得先（すなわち、ステップS2で蓄積された各CMの在処を示すURLアドレス）を記載したURLテーブルとが記憶される（ステップS3）。

【0061】次に、TV放送装置2から（各地の）CM蓄積装置3へ、ステップS1で蓄積された第1のコンテンツに関する鍵情報が通知される（ステップS4）。一方、（各地の）CM蓄積装置3からTV放送装置2へは、ステップS2で蓄積された第2のコンテンツに関するタグ情報が通知される（ステップS5）。

【0062】次に、(各地の)CM蓄積装置3は、ステップS4で通知された鍵情報を、ステップS2で蓄積した第2のコンテンツに埋め込む(ステップS6)。一方、TV放送装置2は、ステップS5で通知されたタグ情報を、ステップS1で蓄積した第1のコンテンツに埋め込む(ステップS7)。

【0063】こうして、第1のコンテンツ(番組)と第2のコンテンツ(CM)とが、タグ情報、ロケーション情報およびURLテーブルを介して互いに関連付けられる。また、CMに鍵情報が埋め込まれたので、TVコマース端末1では、CMを再生しなければ、番組を視聴できないようになる。

【0064】次に、TV放送装置2は、衛星デジタル放送網6を通じ、第1コンテンツ(映像/音声信号およびタグ情報;図2)を、全国の各家庭のTVコマース端末1へ向けて放送する(ステップS8)。次に、TVコマース端末1は、ステップS8で放送された第1コンテンツを受信して、ステップS2で蓄積されたCMを取得し、続いて、それら番組およびCMを再生し、TV4に出力する(ステップS9)。その後、本システムの動作を継続するか否かが判断され(ステップS10)、判断結果が肯定であれば、ステップS1に戻って上記と同様の処理が反復される。一方、否定であれば本システムの動作が終了される。

【0065】図5は、図1のTVコマース端末1の動作の概略(図4のステップS9)を示すフローチャートである。図5において、TVコマース端末1は、最初、衛星アンテナを通じて第1のコンテンツを受信する(ステップS11)。そして、ステップS11で受信した第1のコンテンツからタグ情報を抽出する(ステップS12)。次に、TVコマース端末1は、ステップS12で抽出したタグ情報、およびステップS3で記憶したロケーション情報に基づいて、(番組に挿入再生すべき)CMを選定する(ステップS13)。

【0066】ここで、上記ステップS13のCM選定処理では、タグ情報およびロケーション情報から一義的にCMが決まる場合と、そうでない場合とがある。前者の場合、TVコマース端末1によって、自動的にCMが選定される。一方、後者の場合、TVコマース端末1は、まずいくつかのCM候補を提示し、ユーザによる選択に応じてCMを選定する。

【0067】次に、TVコマース端末1は、ステップS3で記憶したロケーション情報およびURLテーブルを参照して、ステップS13で選定したCMの在処(URL)を特定し(ステップS14)、CM蓄積装置3から、そのURLが割り当てられた第2のコンテンツを取得する(ステップS15)。

【0068】次に、TVコマース端末1は、ステップS15で取得した第2のコンテンツに含まれるCMの映像/音声信号を再生して(ステップS16)、その第2の

コンテンツから鍵情報を抽出する(ステップS17)。次に、ステップS11で受信した第1のコンテンツに含まれる番組の映像/音声信号を、ステップS17で抽出した鍵情報でデスクランブルして再生する(ステップS18)。そして、ステップS18で再生した番組およびCMの映像/音声信号を、所定のタイミングでTV4に出力する(ステップS19)。その後、TVコマース端末1は、(図4のフローに戻って)ステップS10を実行する。

【0069】以上に説明した概略動作では、“ロケーション情報およびURLテーブルの両方がTVコマース端末1に記憶され(ステップS3)”、“TVコマース端末1自身がロケーション情報およびURLテーブルに基づいてCMを選定した(ステップS13)”が、代わりに、URLテーブルを記憶するネームサーバ7を図1のシステムに追加して、TVコマース端末1は、ロケーション情報だけを記憶するようにしてもよい。

【0070】この場合、上記ステップS3は、下記ステップS3aおよびステップS3bに置き換わる。“TVコマース端末1には、ロケーション情報が記憶され(ステップS3a)、ネームサーバ7には、URLテーブルが記憶される(ステップS3b)。”

【0071】また、上記ステップS13は、下記ステップS13a、S13bに置き換わる。“TVコマース端末1は、タグ情報およびロケーション情報をネームサーバ7に通知して、URLの特定を行うように依頼する(ステップS13a)。応じて、ネームサーバ7は、通知されたタグ情報およびロケーション情報と、記憶しているURLテーブルとを参照して、URLの特定を行い、結果をTVコマース端末1に通知する(ステップS13b)。”

【0072】次に、本システムの具体的な実施例について説明する。(番組製作から放送までの処理(図4のステップS1~S8と対応))図1において、TV放送局は、ドラマやドキュメンタリ等の娯楽番組である第1のコンテンツを製作する。もちろん、独立の番組製作会社(委託放送事業者)が製作しても構わない。CM製作会社は地方にあって、番組(または放送枠)を買ってくれる広告主を探す。広告主が見つかり、TV放送局(受託放送業者)と放送枠の交渉を行い、番組が衛星デジタル放送網6を通じて全国に放映される時間枠を獲得する。また、CM製作会社は、広告主の依頼を受けて、第2のコンテンツであるCMを制作する。

【0073】次いで、TV放送局のTV放送装置2と、CM製作会社のCM蓄積装置3との間で鍵情報およびタグ情報のやりとりが行われ、TV放送装置2は番組にタグ情報を、CM蓄積装置3はCMに鍵情報をそれぞれ埋め込む。または、TV放送局がCM製作会社からCMの提供を受けて、TV放送局側でタグ情報および鍵情報の埋め込みを行ってもよく、逆に、CM製作会社がTV放

送局から番組の提供を受けて、CM製作会社側でタグ情報および鍵情報の埋め込みを行ってもよい。

【0074】タグ情報(TVRL; Television Resource Locator)は、番組とCMとを関連付けるための情報である。TVRLの具体例としては、前述の〔広告主〕コードや〔商品〕コードの他、広告対象商品のメーカを示す〔メーカ〕コードなどがある。なお、“コード”は、各会社や各商品等に付された識別子(ID)であって、典型的には文字や記号、番号等の組み合わせにより表現される。

【0075】次に、TV放送装置2は、タグ情報が埋め込まれた番組に、スクランブル処理を施す。ただし、スクランブル処理は、スクランブルされた番組からタグ情報を抽出可能な範囲で行う。具体的には、番組がMPEG-TSで伝送される場合、ストリーム中の特定のセクションをタグ情報伝送用に割り当て、このセクションを含むトランスポートパケットには、スクランブル処理を施さないようにする。

【0076】CMに埋め込まれる鍵情報は、上記のようにしてスクランブルされた番組をデスクランブルするための鍵であり、CMがMPEGビデオストリームの態様である場合、鍵情報は、そのストリームの所定の層(例えばグループオブピクチャ層、ピクチャ層またはシーケンス層)にあるユーザデータ領域に格納される。または、鍵情報をMPEG2ビデオストリームに電子透かしとして埋め込み、MPEGデコード部140が、MPEG2ビデオストリームをデコードして鍵情報を抽出するようにしてもよい。

【0077】次に、TV放送装置2は、番組を電波に変換して、契約した時間枠で、衛星デジタル放送網6を通じて全国に放送する。放送された電波は、ユーザ宅において、衛星アンテナを通じてTVコマー্স端末1によって受信され、TV映像に変換される。

【0078】〈番組受信からTV出力までの処理(図4のステップS9と対応)〉図6は、図1のTVコマー্স端末1の具体的な構成を示すブロック図である。図6において、TVコマー্স端末1は、TV受信部110と、データ交換部120と、映像蓄積部130と、MPEGデコード部140と、表示メモリ部150と、MPU160と、IP通信制御部170と、記憶部180とを備えている。

【0079】TV受信部110は、TV放送装置2からの電波を受信して、MPEG-TSに変換する(なお、MPEG-PSやMPEG-ESに変換する場合もあるが、いずれにしても発明の本質には変わりはない)。TV受信部110からのMPEG-TSは、データ交換部120を通じ、映像蓄積部130またはMPEGデコード部140に渡される。

【0080】映像蓄積部130は、データ交換部120を通じて渡されるMPEG-TSを蓄積する。映像蓄積

部130に蓄積されたMPEG-TSは、データ交換部120を通じてMPEGデコード部140に渡される。MPEG-TSを映像蓄積部130経由でMPEGデコードに渡すことによって、番組を時間シフトしながら再生すること(すなわち蓄積再生)が可能となる。

【0081】IP通信制御部170は、ネットワーク5を介してCM蓄積装置3と接続されている。記憶部180には、ロケーション情報と、URLテーブルとが記憶されている。記憶部180のロケーション情報は、TVコマー্স端末1購入時、ユーザが自宅の所在地を(リモコンボタン等を操作して)入力することにより記憶されたものである。一方、URLテーブルは、TV放送装置2から番組に多重して放送されており、それを受信して記憶したものである。

【0082】MPU160は、最初、タグ情報およびロケーション情報とURLテーブルとに基づいて、番組に挿入再生するCMを選定し、さらに、URLテーブルを参照して、選定したCMの取得先(URL)を特定する。そして、IP通信制御部170およびネットワーク5を通じ、CM蓄積装置3から、特定したURLと対応するCM(MPEGビデオストリーム)を取得する。

【0083】MPEGデコード部140は、データ交換部120を通じて渡されるMPEG-TS、およびMPU160が取得したMPEGビデオストリームをデコードして、番組およびCMの映像/音声信号を再生する。また、MPEGデコード部140には、デスクランブル機能と、TVRL抽出機能と、鍵情報抽出機能とが追加されている。すなわち、MPEGデコード部140は、MPEG-TSをデスクランブルし、MPEG-TSからタグ情報(TVRL)を抽出し、MPEGビデオストリームから鍵情報を抽出する。表示メモリ部150は、再生された映像/音声信号を記憶する。

【0084】なお、本システムにネームサーバ7が追加される場合、記憶部180には、ロケーション情報だけが記憶される。この場合、MPU160は、次のように動作する。すなわち、MPU160は、タグ情報およびロケーション情報を通知して、番組に挿入再生するCMの選定と、選定したCMのURLの特定とをネームサーバ7に依頼する。応じて、ネームサーバ7が、タグ情報およびロケーション情報とURLテーブルとに基づいてCM選定およびURL特定を行い、結果を応答通知する。MPU160は、ネームサーバ7からURLの通知を受けて、CM蓄積装置3から、そのURLと対応するCMを取得する。

【0085】また、タグ情報およびロケーション情報とURLテーブルとに基づいてCMを選定する際、CMが一義的に決まらない場合には、MPU160は、図示しないキーボード等を通じてなされるユーザ選択を受け付け、その選択に応じてCMを選定する(または、MPU160が独自の基準で選定したり、ランダムに選定して

もよい)。

【0086】以上のように構成されたTVコマース端末1の動作について、図7のフローチャートを用いて説明する。図7は、図1のTVコマース端末1の具体的な動作(図6のMPU160の処理手順)を示すフローチャートである。図7において、MPU160は、最初、TV受信部110に命じて、放送信号をMPEG-TSに変換させ(ステップS31)、次いで、データ交換部120を通じて、そのMPEG-TSをMPEGデコード部140または映像蓄積部130へと渡す(ステップS32)。

【0087】MPEGデコード部140は、TV受信部110から直接、または映像蓄積部130を経由して渡されるMPEG-TSを順次デコードしていく。このとき、MPU160は、MPEGデコード部140に命じて、MPEG-TSからタグ情報を抽出させる(ステップS33)。

【0088】さらに、MPU160は、MPEGデコード部140を監視して、デコード中に新たなタグ情報が抽出されたか否かを判定する(ステップS34)。そして、その判定結果が肯定の場合、MPU160は、第2のコンテンツ(CM)を取得する処理を起動し(ステップS35)、その後、ステップS31に戻って、上記と同様の処理を反復する。

【0089】ステップS35の判定結果が否定の場合、MPU160は、MPEGデコード部140を監視して、第1のコンテンツ(番組対応のMPEG-TS)をデスクランブルするための鍵が未取得か否かを判断する(ステップS36)。その判断結果が否定の場合、ステップS31に戻って、上記と同様の処理を反復する。

【0090】ステップS36の判断結果が肯定の場合、MPU160は、MPEGデコード部140に命じて、最初、第1コンテンツのデコード処理を一時停止させ(ステップS37)、次いで、第2コンテンツ(CM対応のMPEGビデオストリーム)をデコードしてそこから鍵を抽出させる(ステップS38)。そして、第1コンテンツのデコード処理を再開させる(ステップS39)。その後、MPU160は、ステップS31に戻って、上記と同様の処理を反復する。

【0091】図8は、図7のステップS35、すなわち図6のMPU160が行う第2コンテンツ取得処理の詳細を示すフローチャートである。図8において、MPU160は、最初、図7のステップS33で抽出したTVURLに基づいてURLを特定、すなわち番組に挿入再生すべきCMの在処(URL)を特定する(ステップS41)。

【0092】次に、MPU160は、IP通信制御部170を通じ、CM蓄積装置3から、ステップS41で特定したURLと対応する第2コンテンツを取得して、映像蓄積部130に蓄積する(ステップS42)。その

後、MPU160は、図8のフローに戻る。

【0093】〈URL特定処理の具体例〉図9は、図8のステップS41、すなわち図6のMPU160が行うURL特定処理の一例(タグ情報に〔広告主〕コードが記述されている場合であって、かつMPU160が自らURL特定を行う場合)を示すフローチャートである。図9において、MPU160は、最初、MPEGデコード部140が第1のコンテンツから抽出したタグ情報(TVURL)を解析して〔広告主〕コードを抽出する(ステップS51)。

【0094】次に、MPU160は、記憶部180に記憶されているロケーション情報およびURLテーブルと、ステップS51でタグ情報から抽出した〔広告主〕コードとに基づいて、取得する第2のコンテンツを選定、すなわち番組に挿入再生すべきCMを選定する(ステップS52)。

【0095】ここで、ステップS52の選定処理について具体的に説明する。図10は、図6の記憶部180に記憶されるURLテーブルの具体例を示す図である。図10のテーブルには、広告主「A社」および「B社」について、「大阪」、「名古屋」および「東京」の各地域用CMの在処(URL)が記載されている。「B社」の各地域用CMは、各々1本ずつであり、一方、「A社」の各地域用CMは、各々複数本(例えば、冷蔵庫や洗濯機等の「白モノ」のCM、およびテレビやステレオ等の「AV機器」のCM)ずつ準備されている。

【0096】いま、記憶部180に記憶されているロケーション情報が「大阪」であり、タグ情報から抽出した〔広告主〕コードが「B社」を示しているとする、ステップS52では、MPU160は、図10のテーブルを参照して、B社の大阪地域用CMを選定する。

【0097】また、記憶部180に記憶されているロケーション情報が「大阪」であり、タグ情報から抽出した〔広告主〕コードが「A社」であるとする、ステップS52では、MPU160は、図10のテーブルを参照して、A社の大阪地域用「白モノ」CMと、A社の大阪地域用「AV機器」CMとを選定する。

【0098】なお、こうして選定したCMをいずれか1本に絞り込む必要があれば、MPU160は、例えば、ユーザに「白モノ」CMおよび「AV機器」CMのどちらか一方を選択させるための画面をディスプレイ(図示せず)に表示し、ユーザの選択に応じてCMを絞り込む。あるいは、予めユーザが自分の性別や年齢、趣味嗜好等をTVコマース端末1にキーボード(図示せず)等を通じて入力しておき、MPU160がその基準に判断して絞り込むようにしてもよい。

【0099】再び図9において、次に、MPU160は、記憶部180に記憶されているURLテーブルを参照することによりURLを特定、すなわちステップS52で選定した第2コンテンツ(CM)の在処(URL)

を特定する（ステップS53）。その後、MPU160は、図8のフローに戻る。

【0100】なお、記憶部180に記憶されているURLテーブルは、TV放送装置2から放送されたものである。または、例えばTVコマース端末1の出荷時、予め記憶部180に記憶されてもよい。

【0101】また、TVコマース端末1の記憶部180に、図10のテーブルのような全国版URLテーブルが記憶される代わりに、TVコマース端末1の所在地に関連のある情報だけを記載した地方版URLテーブルが記憶されてもよい。

【0102】TVコマース端末1の記憶部180に地方版URLテーブルを記憶させる方法として、例えば次のような方法がある。すなわち、TV放送装置2が全国版URLテーブルを放送し、TVコマース端末1は、その全国版URLテーブルを受信する。そして、図11に示すように、その全国版URLテーブルから、TVコマース端末1の所在地に関連のある情報だけを抽出することにより、地方版URLテーブルを作成する。

【0103】具体的には、MPU160が、TV受信部110が受信した全国版URLテーブルから、記憶部180に記憶されているロケーション情報に基づき、TVコマース端末1の所在地域に関連のある情報を抽出する。そして、抽出した情報だけが記載された地方版URLテーブルを作成し、記憶部180に記憶させる。これにより、記憶部180に記憶される情報量が削減される。

【0104】図12は、図8のステップS41、すなわち図6のMPU160が行うURL特定処理の別の一例（タグ情報に「広告主」コードが記述されている場合であって、かつMPU160がURL特定処理をネームサーバ7に依頼する場合）を示すフローチャートである。図12において、MPU160は、最初、第1のコンテンツから抽出されたタグ情報（TVRL）を解析して、「広告主」コードを抽出する（ステップS61）。

【0105】記憶部180には、ロケーション情報と、URLテーブルを記憶しているネームサーバ7のアドレス（例えば、「osaka.name.com」と）が記憶されている。次に、MPU160は、ステップS61で抽出した「広告主」コードと、記憶部180に記憶されているロケーション情報とを、IP通信制御部170を通じ、このネームサーバ7へと送信する（ステップS62）。

【0106】ネームサーバ7には、URLテーブルが記憶されており、ネームサーバ7が、MPU160に代わって、前述のCM選定処理（ステップS52）およびURL特定処理（ステップS53）を実行する。すなわち、ネームサーバ7は、ステップS62で通知されたロケーション情報および「広告主」コードと、自らが記憶しているURLテーブルとに基づいて、取得する第2の

コンテンツを選定、すなわち番組に挿入再生すべきCMを選定する（ステップS63）。さらに、ネームサーバ7は、URLテーブルを参照することによりURLを特定、すなわちステップS63で選定した第2コンテンツ（CM）の在処（URL）を特定し（ステップS64）、結果をTVコマース端末1宛に応答送信する。

【0107】次に、MPU160は、ネームサーバ7から応答送信されたURLを受信し（ステップS65）、その後、図9のフローに戻る。なお、ステップS64で複数のCMが選定され、CMをいずれか1本に絞り込む必要がある場合、ネームサーバ7は、例えば本TVコマース端末1を通じてユーザにCM選択を行わせ、それに応じてCMを絞り込む。

【0108】図13は、図8のステップS41、すなわち図6のMPU160が行うURL特定処理のさらに別の一例（タグ情報に「商品」コードが記述されている場合であって、かつMPU160がURL特定処理をネームサーバ7に依頼する場合）を示すフローチャートである。図13において、MPU160は、最初、MPEGデコード部140が第1のコンテンツから抽出したタグ情報（TVRL）を解析して「商品」コードを抽出する（ステップS71）。

【0109】記憶部180には、ロケーション情報と、URLテーブルを記憶しているネームサーバ7のアドレス（例えば、「osaka.name.com」と）が記憶されている。次に、MPU160は、ステップS71で抽出した「商品」コードと、記憶部180に記憶されているロケーション情報とを、IP通信制御部170を通じ、ネームサーバ7（のURL宛）に送信する（ステップS72）。

【0110】ネームサーバ7には、URLテーブルが記憶されており、ネームサーバ7は、ステップS72で通知された「商品」コードおよびロケーション情報と、自らが記憶しているURLテーブルとに基づいて、取得する第2のコンテンツを選定、すなわち番組に挿入再生すべきCMを選定する（ステップS73）。

【0111】ステップS73の選定処理は、例えば次のようにして行われる。いま、記憶部180に記憶されているロケーション情報が「大阪」であり、MPU160から通知された「商品」コードが「A社の白モノ」であるとする、ステップS73では、ネームサーバ7は、図10のURLテーブルを参照して、A社の大阪地域用「白モノ」CMを選定する。

【0112】再び図13に戻り、さらに、ネームサーバ7は、URLテーブルを参照することによりURLを特定、すなわちステップS73で選定した第2コンテンツ（CM）の在処（URL）を特定し（ステップS74）、結果をTVコマース端末1宛に応答送信する。次に、MPU160は、ネームサーバ7から応答送信されたURLを受信し（ステップS75）、その後、図9の

フローに戻る。

【0113】以上のように、本実施形態では、ネットワーク5上（のCM蓄積装置3）に蓄積される各CM（第2コンテンツ）にURLがそれぞれ割り当てられ、（TV放送装置2によって衛星デジタル放送網6を通じて）放送される番組（第1コンテンツ）には、その番組と相互に関連付けて再生出力されるべきCMのURLを特定するためのタグ情報が埋め込まれている。TVコマース端末1は、受信した番組に埋め込まれているタグ情報に基づいてURLを特定して、そのURLが割り当てられたCMを取得するので、受信した番組と相互に関連付けて再生出力されるべきCMを（CM蓄積装置3から）取得することができる。その結果、提供者は、放送される番組と、ネットワーク5上に蓄積されている所望のCMとを相互に関連付けてユーザに提供することができるようになる。

【0114】特に、タグ情報に〔広告主〕コードまたは〔商品〕コードが記述され、TVコマース端末1は、その端末1がどの地域に所在するかを示すロケーション情報を記憶する。TVコマース端末1は、番組を受信すると、URLテーブル—このテーブルには、各CMについて、そのCMに割り当てられたURLと、そのCMがどの広告主によるおよび／またはどの商品を対象とするものの地域用のものであるかが記載されている—を参照して、その番組に埋め込まれたタグ情報に記述されている〔広告主〕コードまたは〔商品〕コードと対応し、かつその端末1の所在地域用であるCMのURLを特定する。これにより、提供者は、衛星デジタル放送網を通じて全国放送される番組と、所望の広告主および／または商品に関する、その端末が所在する（すなわちその端末のユーザが居住する）地域用のCMとを相互に関連付けて、全国各地域に居住している各ユーザに提供することができるようになる。

【0115】なお、本実施形態では、一例として、タグ情報が〔広告主〕コードまたは〔商品〕コードである場合を説明したが、タグ情報は、放送される番組とネットワーク上のCMとを関連付けるものであれば、これに限らない。

【0116】例えば、本実施形態では、タグ情報とURLテーブルとを別々ものとして説明しているが、タグ情報は、図14のようなURLテーブルであってもよい。図14のテーブルには、各地域用のCMのURLが記載されている。TVコマース端末1は、ロケーション情報を記憶しており、番組を受信すると、その番組にタグ情報として埋め込まれた図14のURLテーブルと、ロケーション情報とを参照して、その端末1の所在地域用であるCMのURLを特定する。

【0117】または、タグ情報は、図15のような視聴期間テーブルであってもよい。図15のテーブルでは、視聴期間（例えば2000年2月1日～同年3月1日、

同年3月2日～同年12月31日、…の各期間）毎に広告主が設定されている。TVコマース端末1は、ロケーション情報と、例えば図10のURLテーブルとを記憶しており、番組を受信すると、最初、その番組にタグ情報として埋め込まれた図15の視聴期間テーブルと、現日時とに基づいて広告主を選定し、次いで、ロケーション情報および図10のURLテーブルを参照して、選定した広告主によるCMであって、かつその端末1の所在地域用であるCMのURLを特定する。例えば、現日時が2000年2月10日であるとする、最初、図15の視聴期間テーブルに基づいて、2000年2月1日～同年3月1日の期間と対応する「A社」および「D社」が選択され、次に、図10のURLテーブルを参照して、「A社」のCMおよび「D社」のCMの各URLが特定される。このように、視聴期間テーブルを番組にタグ情報として埋め込めば、視聴期間によって（例えば、2000年2月1日～同年3月1日と、同年3月2日～同年12月31日とで）、別々の広告主によるCMを挿入再生することが可能となる。

【0118】または、タグ情報は、図16のような視聴形態テーブルであってもよい。図16のテーブルでは、番組の視聴形態（例えば放送時に視聴、蓄積して視聴、…などの各視聴形態）毎に広告主が設定されている。TVコマース端末1は、ロケーション情報と、例えば図10のURLテーブルとを記憶しており、番組を受信すると、最初、その番組にタグ情報として埋め込まれた図16の視聴形態テーブルと、番組の視聴形態とに基づいて広告主を選定し、次いで、ロケーション情報および図10のURLテーブルを参照して、選定した広告主によるCMであって、かつその端末1の所在地域用であるCMのURLを特定する。例えば、視聴形態が「放送時に視聴」であるとする、最初、図16の視聴形態テーブルに基づいて「放送時に視聴」と対応する「A社」および「D社」が選択され、次に、図10のURLテーブルを参照して、「A社」のCMおよび「D社」のCMの各URLが特定される。このように、視聴形態テーブルを番組にタグ情報として埋め込めば、視聴形態によって（例えば、番組を放送時に視聴する場合と、蓄積（録画）してから視聴する場合とで）、別々の広告主によるCMを挿入再生することが可能となる。

【0119】また、本実施形態では、タグ情報に〔広告主〕コードまたは〔商品〕コードが記述されており、図1のTVコマースシステムにネームサーバ7が追加された場合、TVコマース端末1は、タグ情報に記述された〔広告主〕コードまたは〔商品〕コードと、ロケーション情報とをネームサーバ7に通知して、CMの選定およびURLの特定を行うように依頼したが、CMを選定するための〔広告主〕コードまたは〔商品〕コードに代えて、（その情報が埋め込まれる）番組を特定する「番組ID」をタグ情報に記述しておいてもよい。この場合、

TVコマース端末1は、タグ情報に記述された「番組ID」をネームサーバ7に通知する。ネームサーバ7は、端末1から通知されたIDと対応する番組のスポンサー（つまりその番組に挿入されるCMの広告主）によるCMのURL（またはURLテーブル）を、端末1に応答通知する。

【0120】このように、タグ情報に「番組ID」を記述しておき、TVコマース端末1がネームサーバ7に「番組ID」を通知して、ネームサーバ7から、その番組のスポンサーによるCMのURL（またはURLテーブル）を受け取るようにすれば、広告主（番組のスポンサー）がネームサーバ7を通じて、番組とCMとの対応関係を変更、つまり番組に挿入再生されるCMを変更することができるようになる。例えば、広告主が各CMの取得回数を予め指定しておき、ネームサーバ7は、あるCMが指定された回数取得される（言い換えれば、あるCMのURLアドレスを、指定された回数だけ端末1に応答通知する）と、それ以降は、そのCMのURLに代えて、別のCMのURLを端末1に応答通知する。

【0121】（第2の実施形態）図17は、本発明の第2の実施形態に係るTVコマースシステムの構成を示すブロック図である。図17において、TVコマースシステムは、TVコマース端末11と、TV放送装置12と、Webサイト蓄積装置13と、保管庫14とで構成される。

【0122】TVコマース端末11は、デジタルTV番組を視聴するユーザ宅に設けられ、TV15と接続される。保管庫14は、配達される商品18を保管するための鍵付きの容器であり、予め”ユーザ鍵”を記憶する。そして、扉が閉められると自動的に施錠される。施錠された保管庫14は、入力される鍵が”ユーザ鍵”と一致するか否かを判定して、一致する場合に解錠する。また、保管庫14は、TVコマース端末11が発行する”発注鍵”をさらに記憶し、この”発注鍵”が入力されても解錠する。ただし、保管庫14が記憶している”発注鍵”は、一度解錠されると速やかに消去（破棄）される。

【0123】Webサイト蓄積装置13は、各地の商品販売会社等に設けられ、インターネット網や光ファイバ網等のネットワーク16を介して、ユーザ宅のTVコマース端末11と接続される。TV放送装置12は、番組制作・放送を行う放送局に設けられ、放送／通信衛星を用いた衛星デジタル放送網17を通じて、全国のユーザ宅へ向けてデジタルTV番組およびCMを放送する。また、TV放送装置12は、ネットワーク16または専用回線を介して、各地の商品販売会社等に設けられたWebサイト蓄積装置13と接続される。

【0124】商品販売会社は、CM製作会社等に依頼して、販売したい商品のCMおよびWebサイトを製作する。製作されたWebサイトは、Webサイト蓄積装置

13に蓄積される。また、製作されたCMと、製作されたWebサイトの在処を示すURLとが、TV放送局へと送られ、CMに、WebサイトのURLを埋め込んで放送するよう、TV放送局に依頼がなされる。

【0125】TVコマース端末11は、TV放送装置12によって放送される番組およびCMを受信して再生し、TV15に出力する。このとき、TV放送装置12から放送されるCMには、WebサイトのURLが埋め込まれており、TVコマース端末11は、CMを再生出力する際、画面上にURLを表示する。そして、画面上のURLがユーザによってクリックされると、ネットワーク16を通じ、Webサイト蓄積装置13から、そのURLと対応するWebサイトを取得して、画面上にそのWebサイト（仮想店舗）を表示する。

【0126】図18は、図17のシステム全体の動作を示すフローチャートである。以下、図17のシステムの動作について、図18のフローチャートを用いて説明する。図18において、最初、TV放送局に設置されたTV放送装置12には、デジタルTV番組と、商品販売会社から放送依頼を受けたCM（本実施形態では、このCMが”第1のコンテンツ”である）とが蓄積される（ステップS101）。

【0127】一方、商品販売会社等に設置されたWebサイト蓄積装置13には、ステップS101でTV放送装置12に蓄積されたCMと対応するWebサイト（本実施形態では、このWebサイトが”第2のコンテンツ”である）が蓄積される（ステップS102）。

【0128】また、保管庫14には、予め”ユーザ鍵”が記憶されており（ステップS103）、扉が閉められると、保管庫14は、自動的に施錠される（ステップS104）。なお、ステップS104で施錠された保管庫14は、入力される鍵が”ユーザ鍵”と一致するか否かを判定して、一致する場合に解錠する。”ユーザ鍵”は、例えば、複数の文字や数字、記号等を組み合わせて表現される「暗証番号」や「パスワード」等であり、ステップS103では、ユーザが任意に”ユーザ鍵”を決めることができる。そして、ステップS103で記憶された”ユーザ鍵”を入力することにより、ユーザは、いつでも保管庫14を解錠できる。

【0129】次に、Webサイト蓄積装置13からTV放送装置12へ、ステップS102で蓄積されたWebサイトのURL（本実施形態では、このURLが”タグ情報”に該当する）が通知される（ステップS105）。

【0130】次に、TV放送装置12は、ステップS105で通知されたURLを、ステップS102で蓄積したCM（第1のコンテンツ）に埋め込む（ステップS106）。

【0131】こうして、CM（第1のコンテンツ）とWebサイト（第2のコンテンツ）とが、URL（タグ情

報)を介して互いに関連付けられる。

【0132】次に、TV放送装置12は、衛星デジタル放送網17を通じ、ステップS101で蓄積された番組と、ステップS106でURLが埋め込まれたCMとを、全国の各家庭のTVコマース端末11へ向けて放送する(ステップS107)。次に、TVコマース端末11は、ステップS107で放送された番組およびCMを受信して再生し、TV15に出力する(ステップS108)。

【0133】次に、TVコマース端末11は、CMを見たユーザによる商品発注を受けて”発注鍵”を発行し(ステップS109)、その”発注鍵”が、保管庫14にさらに記憶される(ステップS110)。これにより、ステップS104で施錠された保管庫14は、入力される鍵が”発注鍵”と一致する場合にも解錠できるようになる。

【0134】なお、”発注鍵”を保管庫14に記憶させる方法としては、例えば次の2つが考えられる。第1は、TVコマース端末11の画面上に”発注鍵”を表示し、ユーザがその”発注鍵”を読み取って保管庫14に入力する方法である。第2は、TVコマース端末11と保管庫14とを互いに接続して、TVコマース端末11から保管庫14へ”発注鍵”を送信する方法である。

【0135】次に、TVコマース端末11は、ステップS109で発行した”発注鍵”を、ネットワーク16を通じ、Webサイト蓄積装置13へと送信する(ステップS111)。Webサイト蓄積装置13は、TVコマース端末11からの”発注鍵”を受信して(ステップS112)、その”発注鍵”が記載された伝票19を発行する(ステップS113)と共に、代金決済を行う(ステップS114)。

【0136】ここで、ステップS113の伝票発行処理では、Webサイト蓄積装置13は、”発注鍵”を伝票19上に、例えば文字や記号の態様で、あるいはバーコードの態様で印刷する。

【0137】また、ステップS114の決済処理としては、例えば、次のような方法がある。第1の方法は、Webサイト蓄積装置13と、カード会社や銀行の決済装置(ホストコンピュータ)とをネットワーク16を介して接続し、クレジットカードやデビットカードによる電子決済を行う方法である。この場合、ステップS110では、TVコマース端末11からWebサイト蓄積装置13へ、”発注鍵”と共にカード番号が送信される。第2の方法は、銀行窓口やコンビニ等を通じて代金を払い込むための請求書を発行する方法である。

【0138】次に、商品販売会社の倉庫から商品18が搬出され、その商品18とステップS113で発行された伝票19とが配達員に託される。配達員は、商品18をユーザ宅へ配達する。ユーザが不在の場合、配達員は、伝票19に記載された”発注鍵”を保管庫14に入

力する。保管庫14が解錠されると、配達員は、扉を開いて保管庫14内に商品18を収納し、再び扉を閉める。

【0139】すなわち、保管庫14は、配達員による”発注鍵”の入力を受けて解錠し(ステップS115)、商品18が収納されて再び扉が閉められると、再び施錠する(ステップS116)。次いで、保管庫14は、ステップS111で記憶した”発注鍵”を破棄する(ステップS117)。

【0140】つまり、ステップS109で発行された”発注鍵”は、配達員が商品18を配達する際に、施錠された保管庫14に商品18を収納するための、ただ1回だけ保管庫14を解錠することができる”使い捨て”鍵である。これにより、”ユーザ鍵”がなければ、保管庫14内の商品18を取り出すことができなくなる。

【0141】次に、保管庫14は、”ユーザ鍵”が入力されるのを受けて、ステップS116で施錠された扉を解錠する(ステップS118)。ユーザは、保管庫14内から商品18を取り出す。

【0142】以上のように、本実施形態では、TVコマース端末11は、取得したWebサイトを通じてユーザにより商品注文がなされるのを受け、(配達員により)配達される商品18が保管される施錠された保管庫14を(商品配達時に配達員が)解錠するための”発注鍵”を発行する。そして、その”発注鍵”を、そのWebサイトを蓄積しているWebサイト蓄積装置13にネットワーク16を通じて通知する。

【0143】Webサイト蓄積装置13側では、通知された”発注鍵”が、例えば文字やバーコードの態様で伝票19上に印字されて、注文された商品18に添付される。商品18は、配達員によってユーザ宅へと配達され、施錠された保管庫14内に収納される。施錠された保管庫14は、TVコマース端末11が発行した”発注鍵”を記憶しており、その”発注鍵”と同じ鍵が入力されると解錠する。商品配達時、配達員は、商品18に添付された伝票19上の”発注鍵”を入力して保管庫14を解錠し、庫内に商品18を収納する。

【0144】施錠された保管庫14は、”発注鍵”が入力されて一度解錠すると、記憶している”発注鍵”を破棄する(つまり、”発注鍵”は使い捨てであり、同じ”発注鍵”で再度保管庫14を解錠することはできない)。この場合、ユーザは、”ユーザ鍵”(”発注鍵”とは異なるマスタキー)を保有しており、施錠された保管庫14を好きなときに解錠して、商品18を取り出すことができる。これにより、ユーザは、Webサイトを通じて注文した商品を安全に、かつ短時間で受け取ることができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態に係るTVコマースシステムの構成を示すブロック図である。

【図2】図1のTV放送装置2によって放送される第1のコンテンツ(番組)の構成を示すビットマップである。

【図3】図1のCM蓄積装置3に蓄積されている第2のコンテンツ(CM)の構成を示すビットマップである。

【図4】図1のシステム全体の動作の概要を示すフローチャートである。

【図5】図1のTVコマース端末1の動作の概略(図4のステップS9)を示すフローチャートである。

【図6】図1のTVコマース端末1の具体的な構成を示すブロック図である。

【図7】図1のTVコマース端末1の具体的な動作(図6のMPU160の処理手順)を示すフローチャートである。

【図8】図7のステップS35、すなわち図6のMPU160が行う第2コンテンツ取得処理の詳細を示すフローチャートである。

【図9】図8のステップS41、すなわち図6のMPU160が行うURL特定処理の一例(タグ情報に[広告主]コードが記述されている場合であって、かつMPU160が自らURL特定を行う場合)を示すフローチャートである。

【図10】図6の記憶部180に記憶されるURLテーブルの具体例を示す図である。

【図11】全国版URLテーブル(図10と同じテーブル)をもとに作成される地方版URLテーブルを示す図である。

【図12】図8のステップS41、すなわち図6のMPU160が行うURL特定処理の別の一例(タグ情報に[広告主]コードが記述されている場合であって、かつMPU160がURL特定処理をネームサーバ7に依頼する場合)を示すフローチャートである。

【図13】図8のステップS41、すなわち図6のMP

U160が行うURL特定処理のさらに別の一例(タグ情報に[商品]コードが記述されている場合であって、かつMPU160がURL特定処理をネームサーバ7に依頼する場合)を示すフローチャートである。

【図14】番組にタグ情報として埋め込まれるURLテーブルの一例を示す図である。

【図15】番組にタグ情報として埋め込まれる視聴期間テーブルの一例を示す図である。

【図16】番組にタグ情報として埋め込まれる視聴形態テーブルの一例を示す図である。

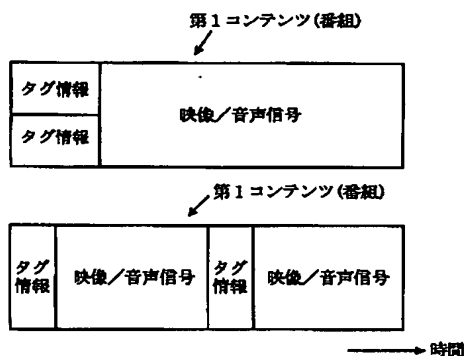
【図17】本発明の第2の実施形態に係るTVコマースシステムの構成を示すブロック図である。

【図18】図17のシステム全体の動作を示すフローチャートである。

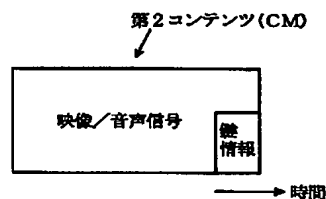
【符号の説明】

- 1, 11…TVコマース端末
- 2, 12…TV放送装置
- 3…CM蓄積装置
- 4, 15…TV
- 5, 16…ネットワーク
- 6, 17…衛星デジタル放送網
- 7…ネームサーバ
- 13…Webサイト蓄積装置
- 14…保管庫
- 110…TV受信部
- 120…データ交換部
- 130…映像蓄積部
- 140…MPEGデコード部
- 150…表示メモリ部
- 160…MPU
- 170…IP通信制御部
- 180…記憶部

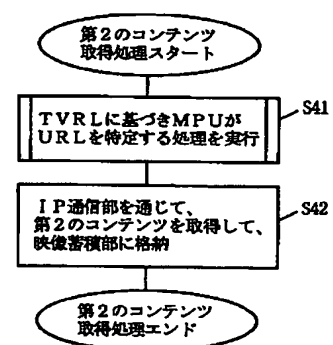
【図2】



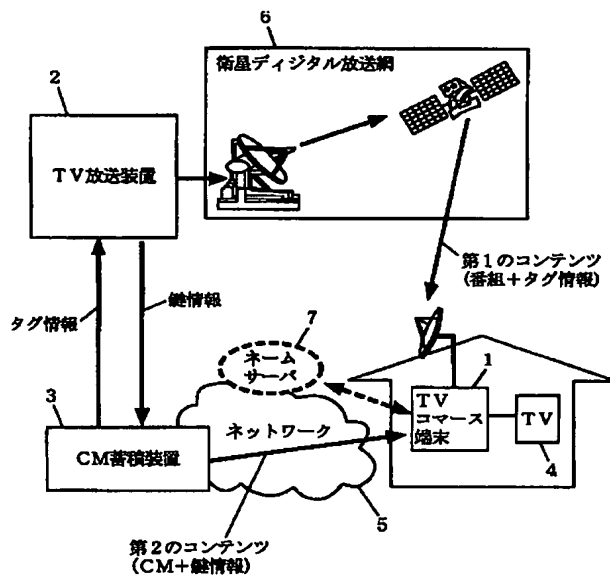
【図3】



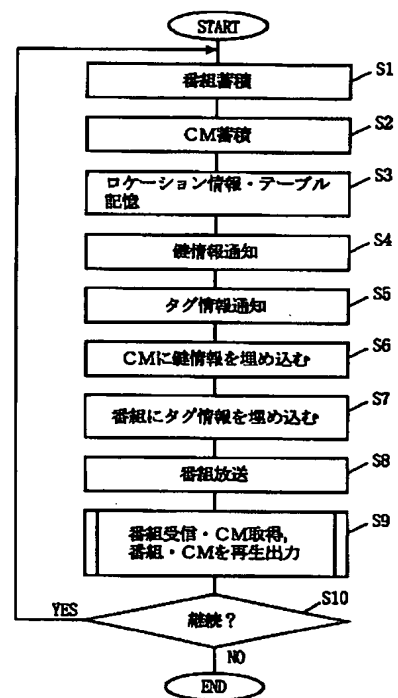
【図8】



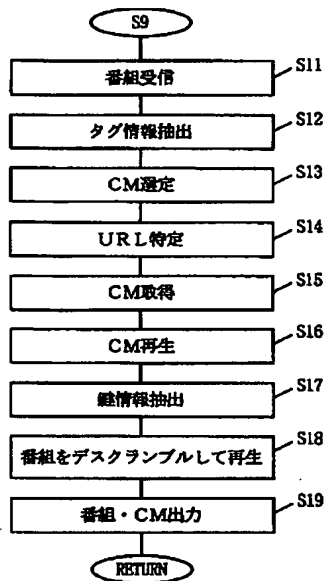
【図 1】



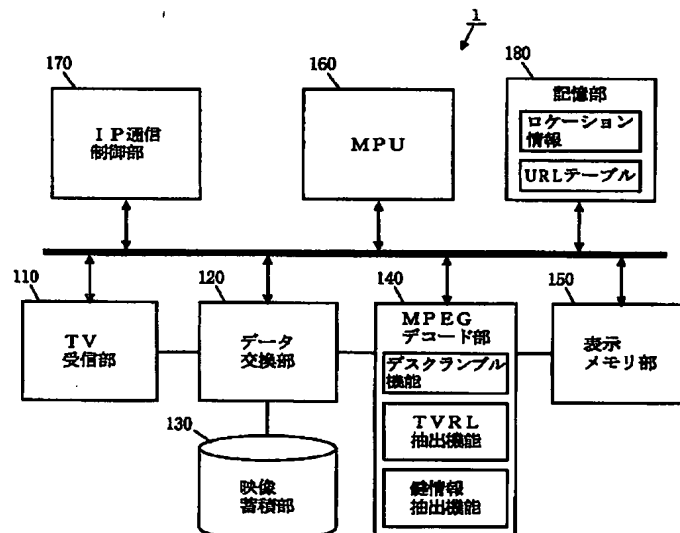
【図 4】



【図 5】



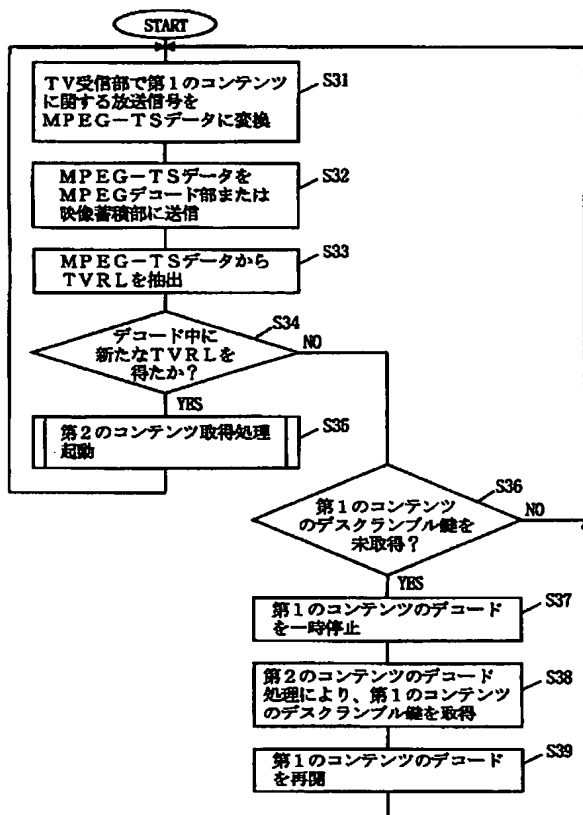
【図 6】



【图 14】

地域	URL
大阪	ftp://osaka.b.co.jp/cm
名古屋	ftp://nagoya.b.co.jp/cm
東京	ftp://tokyo.b.co.jp/cm
⋮	⋮

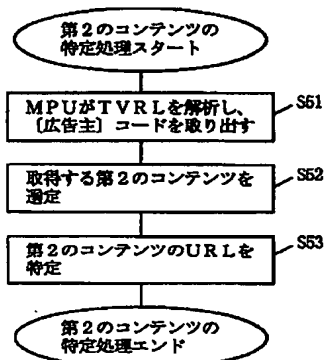
【図7】



【図10】

広告主	地域	URL
A社	大阪	白モノ ftp://osaka.a.co.jp/白モノ/cm
		AV ftp://osaka.a.co.jp/AVcm
		⋮
	名古屋	白モノ ftp://nagoya.a.co.jp/白モノ/cm
		AV ftp://nagoya.a.co.jp/AVcm
		⋮
B社	東京	白モノ ftp://tokyo.a.co.jp/白モノ/cm
		AV ftp://tokyo.a.co.jp/AVcm
		⋮
	大阪	ftp://osaka.b.co.jp/cm
		ftp://nagoya.b.co.jp/cm
		ftp://tokyo.b.co.jp/cm
⋮	⋮	⋮

【図9】



【図11】

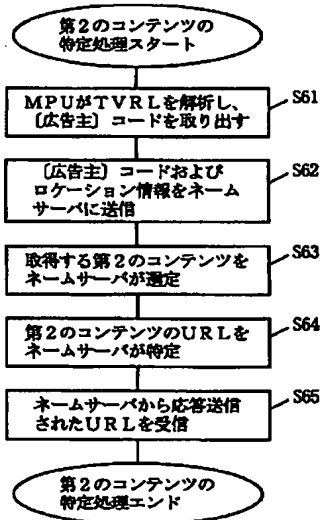
全国版
テーブル

広告主	地域	URL
A社	大阪	白モノ ftp://osaka.a.co.jp/白モノ/cm
		AV ftp://osaka.a.co.jp/AVcm
		⋮
	名古屋	白モノ ftp://nagoya.a.co.jp/白モノ/cm
		AV ftp://nagoya.a.co.jp/AVcm
		⋮
	東京	白モノ ftp://tokyo.a.co.jp/白モノ/cm
		AV ftp://tokyo.a.co.jp/AVcm
		⋮
B社	大阪	ftp://osaka.b.co.jp/cm
	名古屋	ftp://nagoya.b.co.jp/cm
	東京	ftp://tokyo.b.co.jp/cm
⋮	⋮	⋮

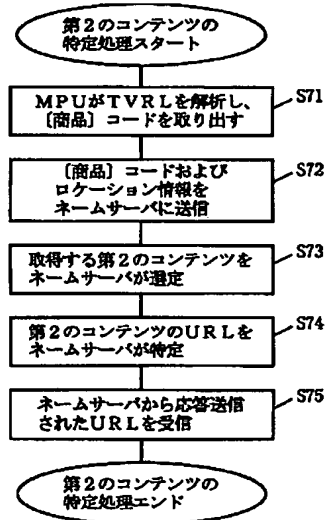
ロケーション情報に基づき、
端末の所在地域の情報だけを抽出地方版
テーブル

広告主	URL	
A社	白モノ	ftp://osaka.a.co.jp/白モノ/cm
	AV	ftp://osaka.a.co.jp/AVcm
⋮	⋮	⋮
B社	ftp://osaka.b.co.jp/cm	
⋮	⋮	

【図12】



【図13】



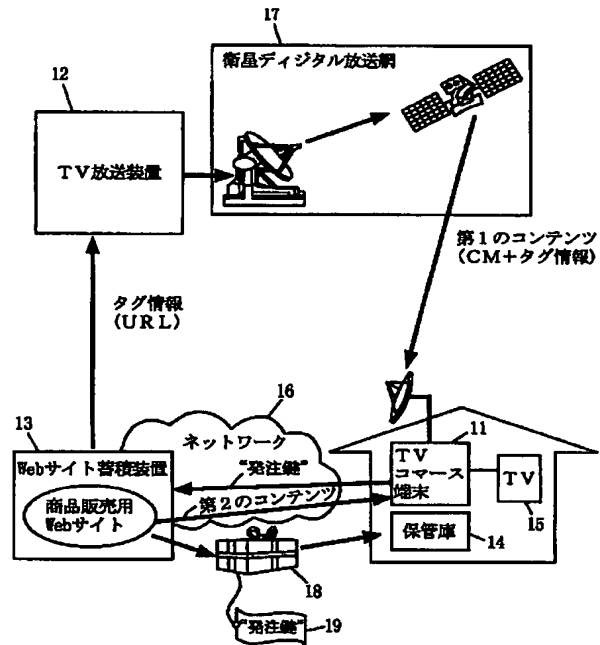
【図15】

視聴期間	広告主
2000. 2. 1～2000. 3. 1	A社
	D社
	⋮
2000. 3. 2～2000. 12. 31	S社
	H社
	⋮
⋮	⋮

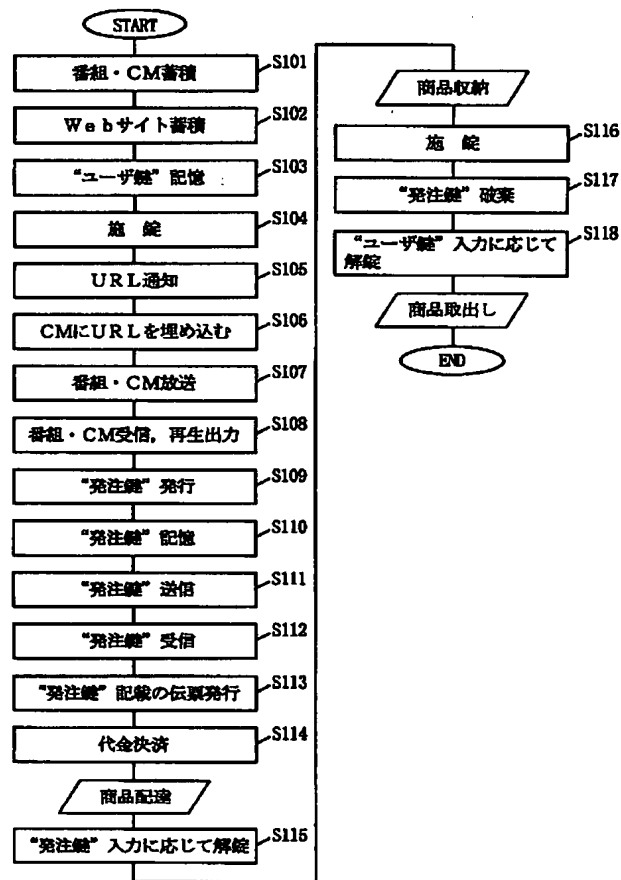
【図16】

視聴形態	広告主
放送時に視聴	A社
	D社
	⋮
蓄積してから視聴	S社
	H社
	⋮
⋮	⋮

【図17】



【図 18】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

識別記号

F I

テーマコード (参考)

G 0 6 F 17/60

5 0 2

G 0 6 F 17/60

5 0 2

H 0 4 H 1/00

H 0 4 H 1/00

C

H 0 4 N 7/08

H 0 4 N 7/20

6 1 0

7/081

H 0 4 B 1/16

G

7/20

6 1 0

H 0 4 N 7/08

Z

// H 0 4 B 1/16